

組織概要

沿革	平成26(2014)年3月 ふじのくに地域・大学コンソーシアム設立 平成26(2014)年4月 一般社団法人設立登記 平成27(2015)年4月 公益社団法人設立登記
構成団体 [正会員] ・高等教育機関	静岡英和学院大学・同短期大学部、静岡県立大学・同短期大学部、静岡産業大学、静岡大学、 静岡県立農林環境専門職大学・同短期大学部、静岡福祉大学、静岡文化芸術大学、静岡理工科大学、順天堂大学保健看護学部、 聖隷クリストファー大学、総合研究大学院大学生命科学研究科遺伝学専攻、東海大学海洋学部、常葉大学・同短期大学部、 日本大学国際関係学部・同短期大学部、沼津工業高等専門学校、浜松医科大学、浜松学院大学・同短期大学部、光産業創成大学院大学、 放送大学静岡学習センター、静岡社会健康医学大学院大学、東都大学沼津ヒューマンケア学部
・地方自治体	静岡県、静岡市、浜松市、沼津市、三島市、富士宮市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市 伊豆市、菊川市、伊豆の国市、河津町、小山町、川根本町
・公共的団体 [準会員] [賛助会員]	静岡県教育委員会、静岡県行政書士会 公益財団法人静岡県舞台芸術センター、静岡トヨタ自動車株式会社、株式会社日本経済新聞社、丸福製茶株式会社 公益社団法人静岡県国際経済振興会、公益財団法人静岡県国際交流協会、岸本工業株式会社、株式会社オレンジハウス、 株式会社SBSコミュニケーションズ、株式会社静岡アド・パートナーズ、株式会社留学ジャーナル、島田掛川信用金庫、沼津信用金庫、 浜松外国人材定着サポート有限責任事業組合
[連携団体]	一般社団法人静岡県経営者協会、静岡県中小企業団体中央会、一般社団法人静岡県商工会議所連合会、 静岡県商工会連合会(平成30年8月 包括連携協定締結)
社員総会	法人の最高意思決定機関：年1回開催
理事会	法人の予算・事業の決定機関：年3回開催
学長連絡会	高等教育機関の学長等で構成する大学教育に関する連絡会：年1～2回程度開催
理事長	日詰一幸(静岡大学学長)
副理事長	尾池和夫(静岡県立大学学長)、今野弘之(浜松医科大学学長)、野口博(静岡理工科大学学長)
理事	鷲崎早雄(静岡産業大学学長)、江藤秀一(常葉大学学長)、中村聡(沼津工業高等専門学校学長)、松浦高之(静岡市企画局長)、 木苗直秀(静岡県教育委員会教育長)
監事	山田吉彦(東海大学静岡キャンパス長)、吉良光陽(静岡県スポーツ・文化観光部総合教育局長)



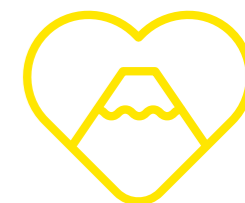
令和
3
年度版



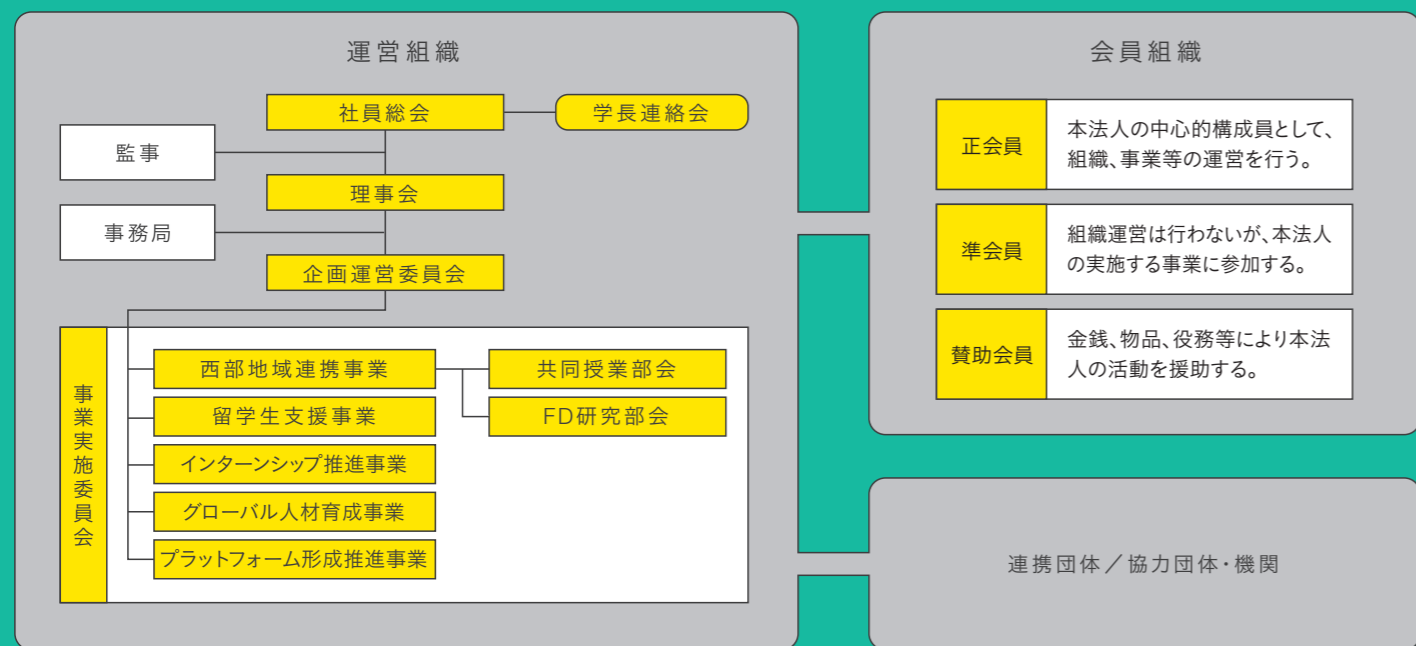
公益社団法人

ふじのくに
地域・大学
コンソーシアム

The Consortium of Universities &
Local Communities in Shizuoka



組織図



「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」とは?

静岡県内の高等教育機関相互の連携を深め、行政、産業界、非営利活動法人などと広範なネットワークを形成し、教育力・研究力の一層の向上を図るとともに、地域社会の発展に寄与していくことを目的として、平成26年3月に設立し、平成27年4月に公益社団法人となりました。令和3年6月現在、21の大学等高等教育機関、22の自治体及び2つの公共的団体が正会員となっています。



公益社団法人 The Consortium of Universities & Local Communities in Shizuoka

ふじのくに地域・大学コンソーシアム

〒420-0839
静岡県静岡市葵区鷹匠3-6-1
もくせい会館2F

お問い合わせ

電話:054-249-1818 FAX:054-249-1820 メール:mail@fujinokuni-consortium.or.jp
HP:http://www.fujinokuni-consortium.or.jp/

Facebook・Twitterにて情報発信中!

Facebook: <https://www.facebook.com/fujinokuni.consortium/>
Twitter: @fujj_conso



ホームページ



Facebook



Twitter





1. 教育連携

① 短期集中単位互換授業

学生が他大学の科目を履修し、在籍大学の単位として認定する(単位互換協定校が対象)。地域に根差した人材を育成するため、本県の地域資源などをテーマにフィールドワークを含む短期集中共同授業を実施し、大学の正規科目として提供する。



実績

- お茶、南アルプス、観光学など7科目を実施 延べ423人 参加

② 高大連携推進事業

高校生等に大学の学問や大学生活を知る機会を提供し、進学意欲や目的意識の向上を図るため、大学と高校が連携し、大学等の教員による高校への出張講義や大学生によるワークショップなどを行う。



実績

- 大学教員による高校への出張講義 15高校16講座 開催
- 大学生によるワークショップ 5回 延べ352人 参加

③ 西部地域連携事業 (共同授業)

県西部の大学と地域が連携、協力して大学教育の充実や地域の学術振興を図るため、西部地域の大学間連携による共同授業を実施する。

実績

- 新型コロナウイルスの影響により開催中止



2. 共同研究

① 共同研究助成事業

本県の大学間及び大学と地域との連携を促進し、大学の学術研究の向上や地域貢献の推進を図るため、県内の大学の研究者又は研究グループが行う研究に助成する。



実績

- 単年度研究 採択4件

【研究課題】

- 静岡県内コミュニティにおける移動支援のあり方に関する研究(静岡県立大学、静岡産業大学)
- 富士山噴火予測を目的とした省電力型地磁気観測の通年実証実験(東海大学、静岡県立大学)
- ジェロントロジーをコアとした次世代型介護人材育成e-Learningプログラムの国際共同開発(順天堂大学、静岡大学)
- リノベーションまたはコンバージョンによる空き家活用事例から見た中心市街地活性化に向けた研究(静岡理工科大学)

- 2カ年度研究 採択4件

【研究課題】

- スマートな森林経営を実現する、異なる空間スケールにおける針葉樹蓄積推定手法の開発(静岡県立農林環境専門職大学短期大学部、沼津工業高等専門学校)
- 地面の揺れのビックデータから富士山の平時の姿を明らかにする研究(静岡県立大学、静岡大学)
- 耕作放棄茶および柑橘園再生のための矮性アボカド新品種の選抜および新規日光温室の開発(静岡大学、東海大学、静岡県立農林環境専門職大学)
- 47都道府県の第2期地方創成総合戦略の比較分析(静岡県立大学)

② ふじのくに学創出研究事業

地域の活性化に寄与するため、静岡県の特異性・優位性を明らかにする新たな地域学として、「ふじのくに学」の創出及び体系化を検討する。



3. 地域貢献

① 大学連携講座開催事業

県内大学の学術・研究成果を積極的に地域に還元するため、本県の魅力発信、地域振興に繋がる研究内容をテーマとした県民向けの講座を複数大学により共同開催する。



実績

- 採択2件、4講座 214人参加

② ゼミ学生等地域貢献推進事業

自治体等が抱える地域課題解決のための実践的な研究を行う県内大学のゼミ及び県内学生により組織された団体に対して、助成を行う。



実績

- 採択25件



4. 国際交流

① 留学生交流事業

多国籍の学生同士の交流促進を図り、異文化への理解を深めるため交流ツアーや日本語検定助成等の事業を行う。



実績

- 交流バスツアー 10月18日及び3月6日(茶摘み、座禅、他)30人 参加
- 国際交流・日本語スピーチ 2月13日フォーラムでのオンライン配信
- 日本語検定助成 18件

② 留学生受入促進事業

県内大学等への留学生受入促進を図るため、留学/進学フェア等で県内大学等の進学・生活情報を発信する。



実績

- 静岡県大学進学フェア 7月/12月オンライン開催 大学ブース訪問延べ人数 286人
- ベトナム日本語学校 進学説明会 約70人 参加



5. 学生支援

① 留学生支援事業

留学生支援として、就職支援、生活基盤づくり支援を行う。就職支援は県内企業への就労を支援するため、企業交流会や面談会、インターンシップ、就職支援講座等を実施。生活基盤づくり支援は生活ルール・交通安全講座を実施する。



実績

- 企業交流会・就職支援講座等、就職支援イベント 10回 242人 参加
- 生活ルール・交通安全講座(オンライン) 50人 参加

② インターンシップ推進事業

県内における地域人材の育成及び地域産業の振興に寄与するため、インターンシッププログラムの普及拡大、質的向上を目指し、インターンシップマッチング会、専門人材養成研修会等を行う。



実績

- インターンシップマッチング会 1回開催 学生186人 企業35社参加
- 浜松企業バスツアー 新型コロナウイルスの影響により中止
- インターンシップ専門人材養成研修会 新型コロナウイルスの影響により中止

③ グローバル人材育成事業

【文部科学省トビタテ!留学JAPAN 地域人材コース】 未来の静岡県を担うグローバル人材の育成を目指し、県内大学の日本人学生で海外留学を希望する優秀な者に奨学金を給付し、海外留学を支援する。



実績

- 新型コロナウイルスの影響により中止



6. 機関交流

① 合同SD研修会事業

大学職員の資質向上を目的に、合同でSD研修会を開催する。会員大学から希望者を募って企画検討委員会を開催し、研修のテーマや実施方法を議論する。



実績

- 合同FD・SD研修会 2回開催 延べ125人 参加
- SD研修企画委員 22人

② 西部地域FD情報交換会事業

県西部の大学と地域が連携、協力して大学教育の充実や地域の学術振興を図るため、各大学のFD活動の状況や成果、課題等についての情報・意見交換を行う。



実績

- 令和3年2月8日(浜松学院大学)21人 参加



7. 情報発信

① 地域研究成果発信事業 (ふじのくに地域・大学フォーラム)

「ゼミ学生等地域貢献推進事業」の研究成果や「共同研究助成事業」の中間報告、高校生の活動紹介などの合同発表会を行う。



実績

- 令和3年2月13日(Zoomウェビナー) 232人 参加

② 広報事業 (WEBサイト、SNS等)

公式サイト、FacebookやTwitterにてコンソーシアムや県内大学についての情報発信を行う。各種事業の告知のほか、学生に役立つと思われる幅広い情報を掲載する。



実績

- 掲載件数 Facebook 160件、Twitter 75件